



応援団も新世代へ～認証判定会実施～



冬休み中から冬季特訓に取り組んできた応援団候補者たちの認証判定会が1月25日（木）31日（水）に開催され、17人の精鋭が応援団として認証されました。声量・姿勢・手振りだけではなく、清掃や提出物等の生活態度も材料となるこの判定会でした。

練習ではできていても、審査では緊張してうまくできなかったり、忘れてしまったりする姿も見られましたが、3年応援団の厳しくもあたたかい指導により、認証となりました。ただ、これはゴールではなく、スタートラインに立ったすぎません。新応援団の真価は



これからの活動で問われます。特訓で、審査会で感じた緊張感を今後も忘れずに全校生徒をリードして行って

ください。期待しています。【新応援団】団長 高橋諒丞(2-3) 畠山真利華(2-1) 佐々木滯(2-3) 中村悠馬

(1-1) 大原愛生(1-2) 佐藤龍玖(1-3) 伊藤来仁(2-2) 鎌田稜平(2-3) 佐々木来花(2-3) 金澤芽玲(1-2)

深澤来良(1-2) 佐々木怜音(1-3) 作山礼菜(2-3) 八重樫大芽(2-1) 古内 樹(1-1) 米澤秀人(1-2)

藤根優勇(1-3) 村本奈々(1-3) (順不同) 3年生の団員諸君、ありがとうございました。

アイスホッケー岩手選抜は1回戦突破！2回戦惜敗

佐藤太一さん、藤森光太郎さん、民谷徠音さん、佐藤悠真さんが岩手県選抜チームとして出場した全中アイスホッケー競技大会ですが、1回戦の対神奈川選抜に5対4で勝利し準々決勝に進出しました。残念ながら北海道代表の強豪東胆振Eチームに1対4で惜敗となりましたが、県の代表として立派な成績を残しました。通常の部活よりは練習会場等も遠くて、継続して取り組むことが難しかったと想像しますが、このような素晴らしい成果が出たことに敬意を表します。練習を支えてきた保護者の方々もお疲れ様でした。進学先の高校でも競技を続ける選手もいるようです。今後の活躍も楽しみにしています。自分の個性を表現してがんばってほしいと思います。

男子バレーボール部が県大会へ～県中学校バレーボール選手権大会～

1月27日（土）に開催された上記の大会の**花巻市予選で男子バレーボール部が第2位となり県大会への出場権を獲得**しました。顧問の遠藤教諭の病休中ですが、コーチ、保護者会中心に活動して頂き、感謝しております。何より、選手の皆さんががんばってくれたと思います。県大会での活躍も期待しています。**県大会は3月、花巻市開催予定**です。

令和7年度修学旅行積立説明会開催～1年生の保護者を対象に～



1月31日（水）に開催しました。予定コースの説明と今後の旅行費の積み立て計画について説明しました。新幹線の修学旅行生団体予約の関係で日程はすでに確定しており、令和7年度の東京方面への2泊3日のコースの提案と概略説明がなされました。コロナ禍で制限された修学旅行ですが、今年度、次年度、そして令和7年度と東京方面へのコースで実施しています。ご協力よろしく申し上げます。

令和7年度新入生保護者説明会開催～次年度は100名の生徒が入学予定～



2月1日（木）次年度の新入生保護者説明会を開催しました。次年度の新入生は100名の予定です。全校生徒は286名となります。通常学級は1クラス減となり、各学年3クラスの計9学級となり、特別支援学級は3クラスとなります。教務主任の竹花健一主幹教諭より、教育内容・入学準備についての説明がありました。また事務の去石真凜主事からは集金等についての説明がありました。次年度は花巻市教育委員会を

中心とした部活動の地域移行等の改革も始まってきます。保護者の方々ともよく話し合いながら、新1年生の充実した生活や学びを創造していきたいと思えます。**内容で問い合わせがあったのが、次年度の授業参観・PTA総会の日程についてです。お休み等をとる関係だと思えますので校報でもお知らせしておきます。次年度は4月27日（土）の午前中開催の予定です。**新3年生の修学旅行が4月22日（月）～24日（水）の予定ですので3年生徒と教員にとっては少し慌ただしい日程となりますが計画的に進めたいと思えます。

能登半島地震災害義援金へ募金～生徒会執行部が動きました～

1月1日の震災発生以来、私自身も個人的な支援や募金を行ってはいましたが、**新学期開始とともに石中生徒会が新執行部を中心に募金活動を行い、85、462円の募金が集まり、先日、菊池有人生徒会長と継枝利優副会長が当局へと届けてきました。**震災大津波を経験した岩手県人にとっては、**他人事とは思えない災害ですが、やはり時間がたっていますので中学生にとっては昔の出来事になりつつあります。**岩手県教委、花巻市教委では「**いきる・かかわる・そなえる**」のテーマの下、継続した復興教育を行い、時間が経ってもその教訓は風化させずに、**未来に受け継ぐ生徒の育成に努力しています。「想像力を働かせて、自分ごととしてとらえる」**全校朝会ではこの言葉を生徒に贈らせて頂きました。